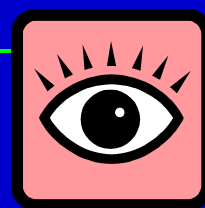


京都府立盲学校 京都府視覚支援センター ご案内



「見え方」が気になる子どもたちを支援します。

- ボールなどの物を目で追わない
- 歩いている、物にぶつかることがある
- メガネをかけても黒板の文字が見えにくい
- 首を傾げて見たり目を極端に近づけて見る
- 黒板の文字を書き写すのに時間がかかり間違いが多い
- 正しく文字を書くことができない
- 漢字の習得が極端に難しい



視覚支援センターでは、視覚障害や「見ること」に困難のある
幼児児童生徒、保護者、教職員の方からの相談に応じています。

こんなサポートをしています

(1) 相談支援

【乳幼児の相談】

視覚に障害のある子どもの育児や日常生活における配慮と手立てについて、相談・支援を行います。



〈触って、確かめる〉

さまざまな遊びをとおして、「見て、触って、確かめて」積極的に環境とかかわることができるようにサポートします。

就学に向けて、点字等の指導も行います。

【地域の学校に通学する児童生徒の相談】

(1) 視覚に障害のある子どもの学習や日常生活全般について、相談・支援を行います。

子どもの視機能（見え方）の状態から、弱視レンズや拡大読書器等の補助具の紹介を行います。

必要に応じて、弱視レンズの指導、点字指導、歩行指導、子どもへのサポートにも関わります。

(2) 読み書きなど「見ること」に困難のある子どもの学習について、相談・支援を行います。



〈拡大読書器〉



〈単眼鏡〉



〈白杖歩行の練習〉

(2) 研修支援・情報提供

【研修講座】

視覚障害教育研修講座を開催します。

平成20年度 「視覚障害乳幼児の発達と支援」

「視覚に障がいのあるお子さんの見え方と関わり方」

平成21年度 「視覚の発達と中枢性視覚障害の理解」

平成22年度 「盲学校から発信した漢字学習法」

「点字の初期指導について」

「視知覚の機能に困難がある子どものアセスメントと支援」

【講師派遣】

地域の学校の校内研修会等に講師を派遣します。

.....

視覚に障害のある児童生徒の学びを支援するために、教科学習を中心とした学校公開事業を実施します。詳細はホームページをご覧ください。

教育相談に関するお問い合わせ

秘密厳守で相談に応じます。

まずは視覚支援センターまで
お電話ください。(連絡先は裏面)



京都府立盲学校 視覚支援センター

センター長： 吉田 美種
副センター長： 大牧万里子
センター専任： 関口 佳美（地域支援コーディネーター）
 山下 融子（地域支援コーディネーター）

*相談内容に応じて、全教職員の中から教育相談担当を決定します。

京都府立盲学校 視覚支援センター相談支援チーム（専門家チーム）

堀部 勉 堀部眼科医院長（眼科医）
小谷 裕実 花園大学教授（小児科医）*
加藤 寿宏 京都大学大学院医学研究科准教授（作業療法士）*
高橋 麻里 聖ヨゼフ医療福祉センター（作業療法士）
清水 里美 平安女学院大学短期大学部准教授（臨床心理士）*
高木 恵子 洛西愛育園園長（臨床発達心理士 自閉症スペクトラム支援士）*

*京都府スーパーサポートセンター（SSC）のスーパーサポートチーム（SST）に登録されている各分野の専門家です。

京都府立盲学校職員

【点字技能士】

安井 正明、 藤井 則之、 森 弘人、 青木 敦

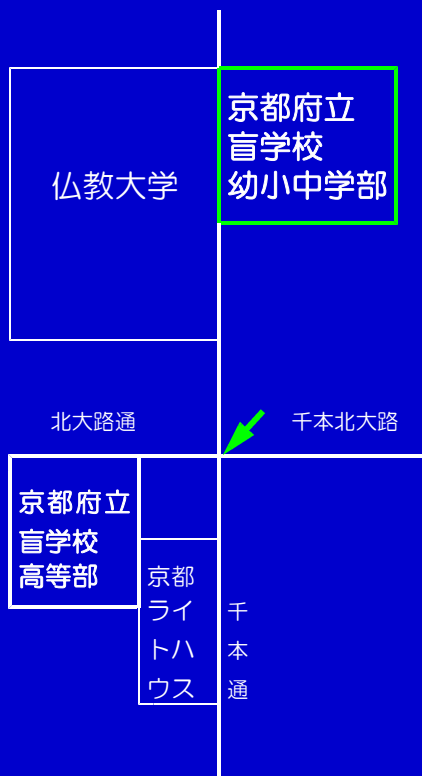
【歩行訓練士】

土井 恵二、 猪子 照、 原口 睦央

【特別支援教育士】

青山 芳文、 大牧万里子、 関口 佳美、 廣瀬美和子、 山下 融子

【アクセス】



【JR京都駅から】

- ・市バス(206)系統で「千本北大路」下車
- ・京都市営地下鉄で「北大路」まで行き、市バス(204)(205)(206)(M1)系統で「千本北大路」または、(1)(北8)系統で「仏教大学前」下車

【阪急大宮駅あるいはJR二条駅から】

- ・市バス(6)(46)系統で「仏教大学前」下車、または、(206)系統で「千本北大路」下車

【四条京阪から】

- ・市バス(12)(59)系統で「千本北大路」下車
- ・市バス(46)系統で「仏教大学前」下車

京都府立盲学校 視覚支援センター（幼小中学部内）

〒603-8231 京都市北区紫野大徳寺町 27
TEL 075(492)6733（代表）
FAX 075(492)6920
URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/mou-s/>